

# 2015年3月期 第3四半期決算説明会

2015年2月9日

株式会社SCREENホールディングス  
常務取締役 (CFO) 近藤 洋一

資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



## 本日のアジェンダ

1. 2015年3月期 第3四半期業績
2. セグメント別業績概況
3. 財務状況について
4. 2015年3月期業績予想
5. まとめ

## 2015年3月期 第3四半期連結業績

(単位：億円)	2014/3期					2015/3期				前年 同期比
	実績					実績				
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	1Q	2Q	3Q	累計	累計
売上高	593	518	521	1,632	726	524	600	498	1,623	▲ 9
SE	433	323	367	1,124	506	351	406	346	1,104	▲ 19
GP	116	124	117	358	162	121	150	121	394	35
印刷関連機器 (MT)	100	104	101	307	132	102	127	104	333	26
プリント基板関連機器 (PE)	15	19	16	51	30	19	23	17	60	8
FT	41	68	33	143	55	49	40	28	118	▲ 24
その他(外部売上のみ)	1	2	2	6	2	1	1	1	5	▲ 0
営業利益	22	8	15	45	43	22	44	33	101	55
SE	21	7	18	47	39	29	33	40	103	55
GP	4	5	4	15	12	4	14	1	20	5
FT	1	▲ 1	▲ 2	▲ 2	▲ 1	▲ 4	2	▲ 8	▲ 10	▲ 8
その他および調整額	▲ 4	▲ 4	▲ 5	▲ 14	▲ 7	▲ 6	▲ 5	0	▲ 11	3
経常利益	22	3	14	40	43	23	42	28	93	52
当期(四半期) 純利益	16	▲ 1	6	22	31	15	31	31	78	55

\*SEはセミコンダクターソリューション事業、GPはグラフィックアンドプレジジョンソリューション事業、FTはファインテックソリューション事業を示しています。

### ■2015年3月期 第3四半期累計業績（前年同期比較）

>>売上高：

1,623億円（前年同期に比べて、9億円 <0.6%> 減少）

- ・ SEは前年同期と比べ減少
- ・ FTも投資タイミングの影響で減少
- ・ MPは増加

>>営業利益：

101億円（前年同期に比べて、55億円増加 <2.2倍>）

- ・ 前上期に実施した緊急対応策の解除や為替の円安影響などにより固定費は増加したが、変動費の削減やSEの製品構成の変化などにより、営業利益は大幅に増加

>>経常利益：

93億円（前年同期に比べて、52億円増加 <2.3倍>）

>>当期純利益：

78億円（前年同期に比べて、55億円増加 <3.5倍>）

>>営業利益率は6.2%と、前年同期2.8% から大幅に改善

## &gt;&gt;前年同期比較

(単位:億円)	2014年3月期 3Q		2015年3月期 3Q		前年同期比 (15/3 3Q - 14/3 3Q)	
売上高	521	100.0%	498	100.0%	▲22	-4.4%
営業利益	15	2.9%	33	6.8%	18	122.2%
経常利益	14	2.8%	28	5.7%	13	92.9%
四半期純利益	6	1.3%	31	6.3%	24	352.1%

## &gt;&gt;前四半期比較

(単位:億円)	2015年3月期 2Q		2015年3月期 3Q		前四半期比較 (15/3 3Q - 15/3 2Q)	
売上高	600	100.0%	498	100.0%	▲101	-17.0%
営業利益	44	7.5%	33	6.8%	▲11	-24.5%
経常利益	42	7.0%	28	5.7%	▲13	-32.7%
四半期純利益	31	5.2%	31	6.3%	0	1.2%

3

SCREEN Holdings Co., Ltd.

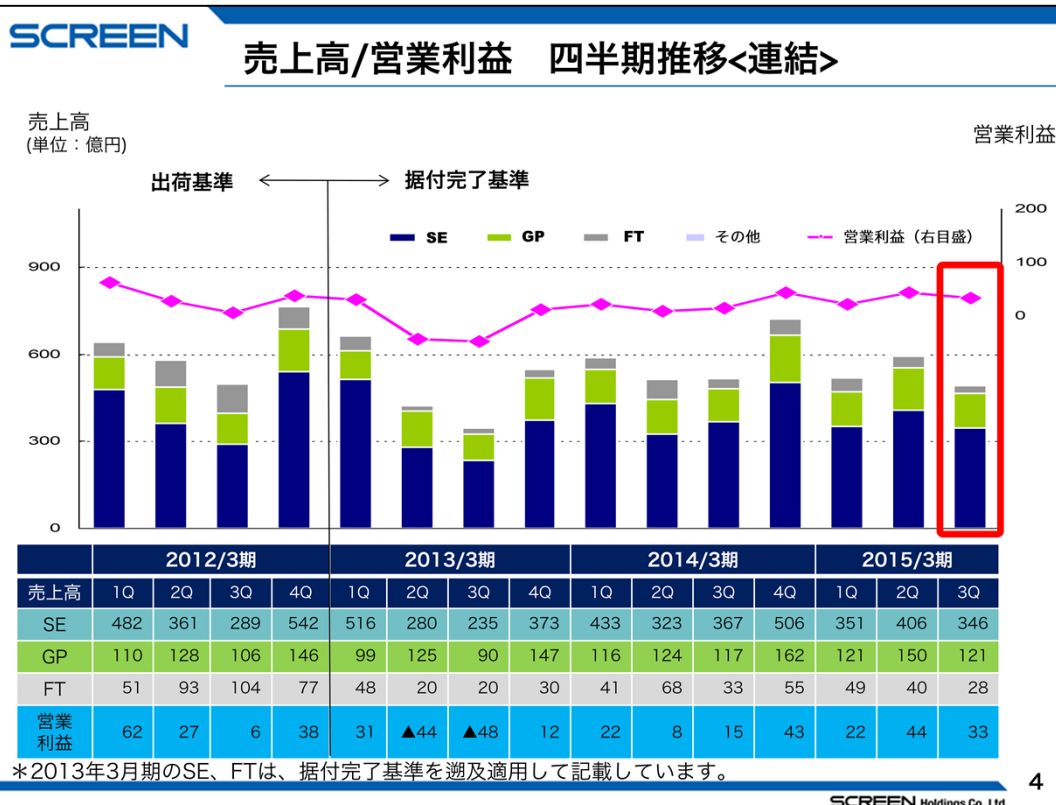
## ■第3四半期(10-12月3カ月間)の連結業績結果

## &gt;&gt;前年同期比較:

- ・売上高: 498億円 (22億円減少 <4.4%減少>)
- ・GPは増加したが、SE、FTが減少
- ・利益は、営業利益33億円、経常利益28億円、四半期純利益31億円
- ・固定費は外貨経費の円安影響などにより増加したが、変動費率の大幅改善により、営業利益は18億円増加 (2.2倍)
- ・営業利益率は、前年同期2.9%から6.8%に上昇
- ・経常利益、四半期純利益とともに、前年同期に比べ増加

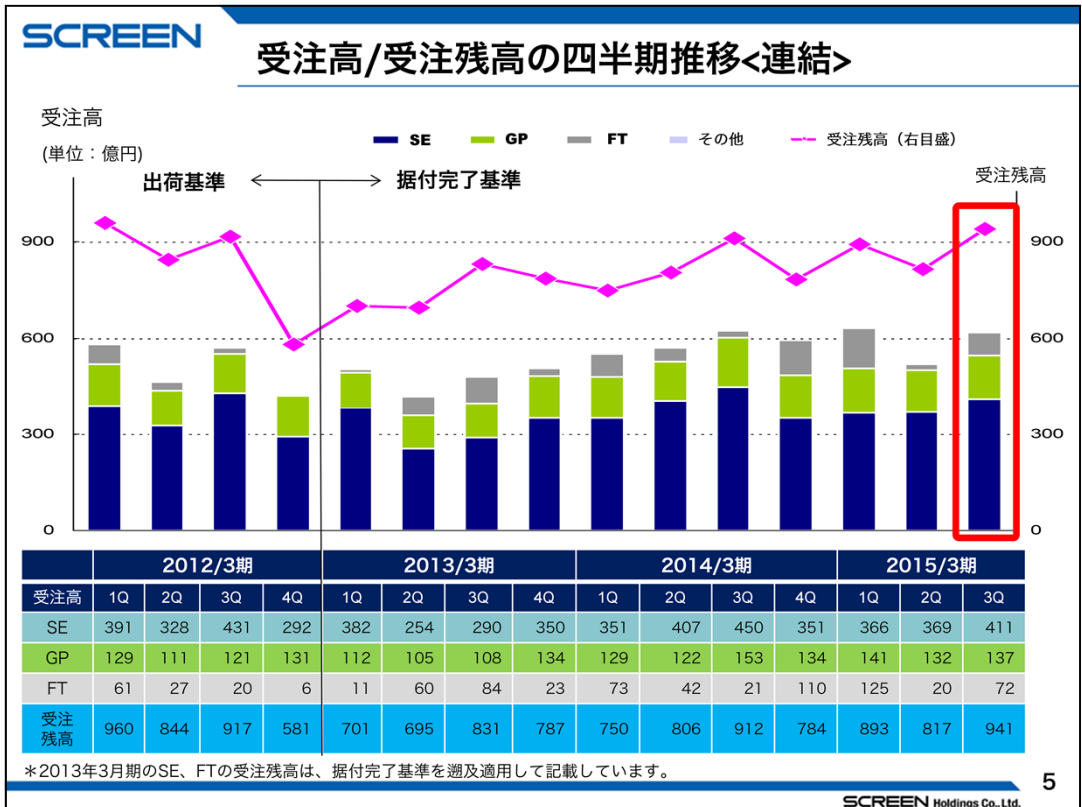
## &gt;&gt;前四半期比較:

- ・売上高: SE、GP、FTともに減少 (101億円減少)
- ・利益面では、売上は大幅に減少したが、変動費率の改善やたな卸し資産評価損の減少などにより、営業利益は11億円の減少にとどまる



■売上高と営業利益の四半期推移グラフ

第3四半期は、売上が低調に推移する中、変動費率の改善などにより一定の営業利益を確保できた



■ 受注高と受注残高のグラフ

- ・ 第3四半期の受注高は、SE、GP、FTともに第2四半期から増加
- ・ 全社合計では第2四半期から98億円増加し、620億円となった
- ・ 受注残高も、第2四半期末から123億円増加し、941億円となった

## セグメント別・業績概況&lt;SEセグメント&gt;

## &gt;&gt;前年同期比較

(単位：億円)	2014年3月期 3Q		2015年3月期 3Q		前年同期比 (15/3 3Q - 14/3 3Q)	
売上高	367	100.0%	346	100.0%	▲ 21	-5.7%
営業利益	18	5.1%	40	11.8%	21	116.0%

## &gt;&gt;前四半期比較

(単位：億円)	2015年3月期 2Q		2015年3月期 3Q		前四半期比較 (15/3 3Q - 15/3 2Q)	
売上高	406	100.0%	346	100.0%	▲ 59	-14.7%
営業利益	33	8.2%	40	11.8%	7	21.9%

## トピックス

- ・前年同期比、前四半期比：変動費率が改善し、減収増益。3Q営業利益率11.8%まで上昇。
- ・受注高：11月予想を下回るも、400億円以上を確保。
- ・事業環境：ファウンドリーが安定的に投資をけん引、メモリーは大きく失速する可能性は低い。

## ■SEの第3四半期(10-12月) 連結業績結果

## &gt;&gt;売上高：346億円

- ・前年同期比：21億円減少

→地域別では、北米や 欧州が増加したが、アジア、国内が減少

→製品別では、枚葉式洗浄装置は増加、バッチ式洗浄装置、コーターデベロッパが減少

- ・前四半期比：59億円減少

→地域的には、欧州では増加、他の地域は減少

→製品別には、コーターデベロッパは増加したが、洗浄装置はバッチ式、枚葉式ともに減少

## &gt;&gt;営業利益：40億円

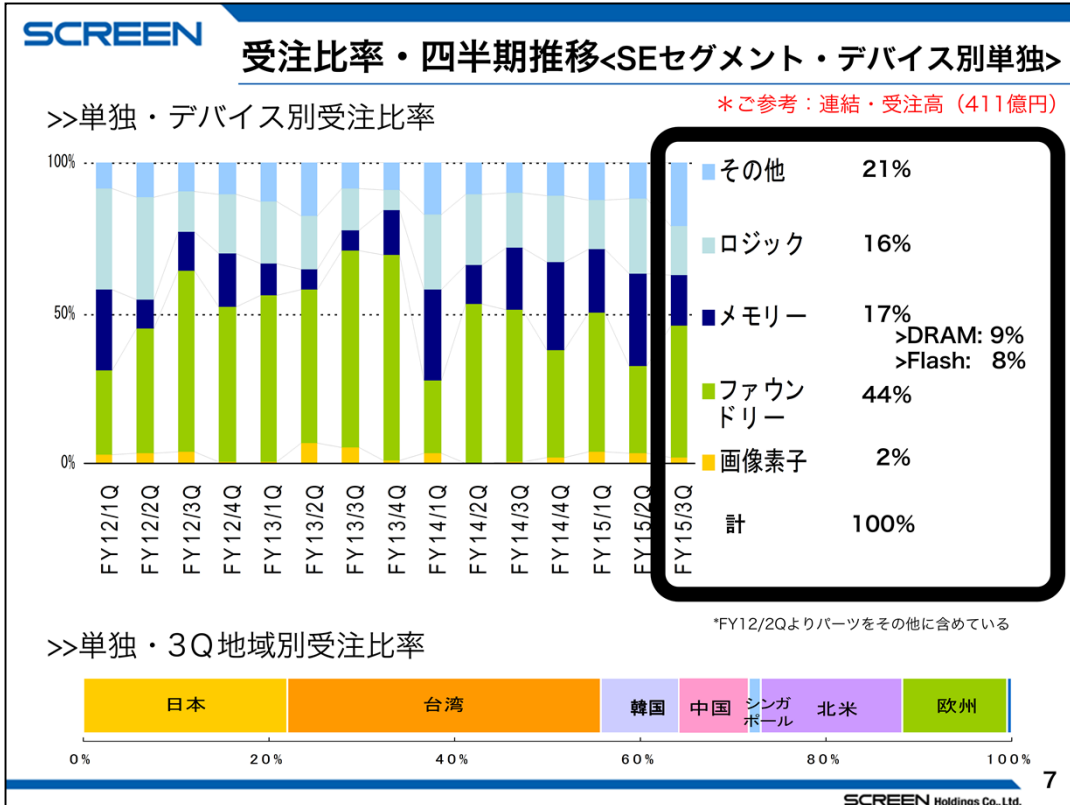
- ・前年同期比：固定費は増加したものの、変動費率改善により増益
- ・前四半期比：売上が減少したにも関わらず、変動費率が改善したことにより増益

## &gt;&gt;受注高：411億円

- ・11月時には2Q比20%程度増加を予想していたが、想定していたお客さまの投資時期が遅れたことで、2Q実績比11%増にとどまった

## &gt;&gt;事業環境：2015年はファウンドリーが安定して投資をけん引すると予想

メモリーはDRAMが投資をけん引



■ SEセグメントにおけるデバイス別受注比率

>>第3四半期実績：

- ・ロジックは、堅調に推移
- ・メモリーは減少、ファウンドリーの増加により、2Q比増
- ・LED、パワーデバイス、SAWフィルターなどの「その他」が比率上昇

>>第4四半期受注見通し：

- ・先端投資の継続などにより、第3四半期同水準を目指す



## セグメント別・業績概況&lt;GPセグメント&gt;

## &gt;&gt;前年同期比較

(単位：億円)

	2014年3月期 3Q		2015年3月期 3Q		前年同期比 (15/3 3Q - 14/3 3Q)	
売上高	117	100.0%	121	100.0%	4	3.5%
営業利益	4	4.2%	1	1.3%	▲3	-68.6%

## &gt;&gt;前四半期比較

(単位：億円)

	2015年3月期 2Q		2015年3月期 3Q		前四半期比較 (15/3 3Q - 15/3 2Q)	
売上高	150	100.0%	121	100.0%	▲28	-19.1%
営業利益	14	9.7%	1	1.3%	▲13	-89.5%

## &gt;&gt;トピックス

- ・売上：前年同期（3Q）比較で4億円増加。3Q累計では、35億円増加（前期:358億円→今期：394億円）。日本国内でのCTP販売が堅調に推移。円安による為替の影響も追い風に。
- ・営業利益：前四半期（2Q）比較で減少するも、4Qでは再び増加見込み。
- ・事業環境：MT：CTPの国内入れ替え需要が数年は継続見込み。一方、PODは北米地域で比較的安定。欧州は回復基調（オランダ、ベルギー、フランスなど）。PE：プリント基板の生産が中国、東南アジアへシフト。

## ■GPの第3四半期(10-12月)連結業績結果

## &gt;&gt;前年同期比較：

- ・売上高：121億円で、4億円増加
  - 地域別では、国内が堅調、欧州が増加
  - 製品別ではPOD、CTPともに増加
- ・営業利益：1億円で、前年同期比で3億円減少
  - 売上は増加したが、固定費が増加

## &gt;&gt;前四半期比較：

- ・売上高：28億円減少
  - 通常売上が増加する2Qに比べ減少
  - 製品別では、PODは増加したが、CTPが減少
  - PEも直接描画装置が減少
- ・営業利益：13億円減少
  - 限界利益率は改善したが、売上の大幅な減少により減益

## &gt;&gt;事業環境：

- ・MTは引き続き、国内でのCTPの更新需要は続く見通し
- 欧州において、PODの引き合いが徐々に増加
- ・PEは、プリント基板の生産地が、韓国や台湾から中国や東南アジアへのシフト傾向

## セグメント別・業績概況&lt;FTセグメント&gt;

## &gt;&gt;前年同期比較

(単位：億円)

	2014年3月期 3Q		2015年3月期 3Q		前年同期比 (15/3 3Q - 14/3 3Q)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高	33	100.0%	28	100.0%	▲5	-16.2%
営業利益	▲2	-7.6%	▲8	-31.9%	▲6	-

## &gt;&gt;前四半期比較

(単位：億円)

	2015年3月期 2Q		2015年3月期 3Q		前四半期比較 (15/3 3Q - 15/3 2Q)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高	40	100.0%	28	100.0%	▲12	▲31.2%
営業利益	2	5.3%	▲8	-31.9%	▲11	-

## &gt;&gt;トピックス

- ・売上・利益：
  - ・3Q売上は今期のボトム。中国向け中小型用パネル装置が中心。
  - 4Qに大きく回復予定（中国向け大型TV用が中心）。
  - ・売上の減少により、前四半期（2Q）比較で営業損益悪化。
- ・受注高：
  - ・一服感のあった前四半期（2Q）から大幅に増加（想定内）。
  - ・4Qには、中小型用パネル用装置（台湾、日本）を見込む。
- ・事業環境： 中国での投資は大型パネル用から中小型用へシフト。台湾で投資再開。

9

## ■FTの第3四半期（10-12月）の連結業績結果

## &gt;&gt;売上高：

- ・売上が28億円、想定どおり着地

## &gt;&gt;利益：

営業利益▲8億円

- ・前年同期比較：売上は5億円減少、営業利益6億円悪化
  - 売上減少に加え、製品ミックスの影響で、限界利益率の低下による
- ・前四半期比較：売上は12億円減少、営業利益は11億円悪化
  - 収益性の高いポストセールスが多かった第2四半期に比べ限界利益率が低下

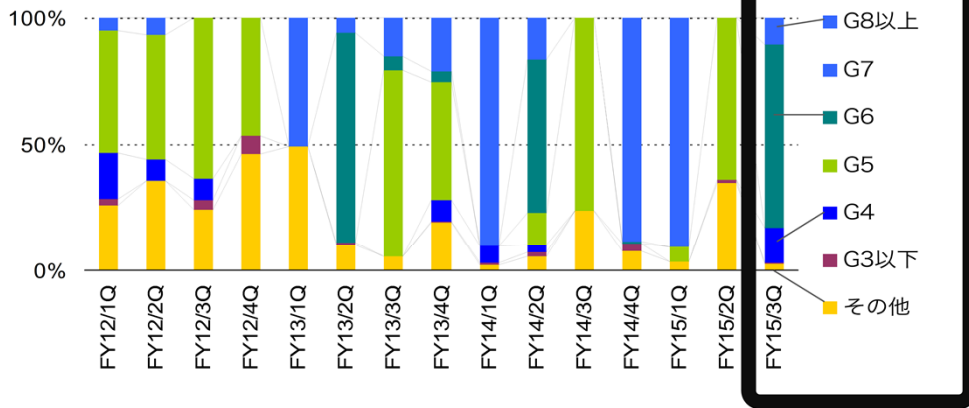
## &gt;&gt;受注：

- ・第3四半期：第2四半期（20億円）から大幅に増加
  - 中小型パネル用投資が、日本、台湾で活発化
- ・第4四半期：第3四半期実績より増加を見込む
  - 中国向けの中小型用投資が増加

受注比率・四半期推移<FTセグメント・世代別単独>

>>単独・製品サイズ別受注比率

\*ご参考：連結・受注高（72億円）



\*FY12/4Qはグロスにて算出

>>単独・3Q地域別受注比率



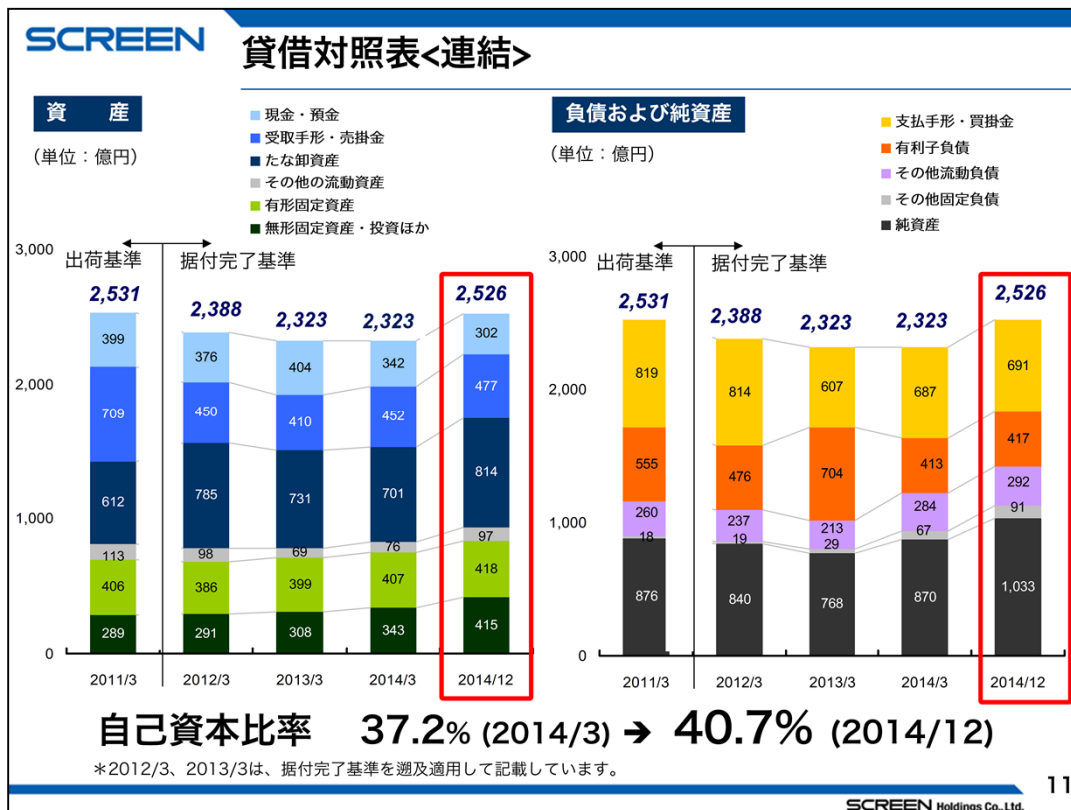
■FTセグメントのガラス基板サイズ別受注

>>第3四半期実績：

- ・11月想定とおり、投資の谷間から浮上
- ・台湾や日本で中小型パネル向けにG6の投資がけん引

>>第4四半期受注見通し：

- ・中国での中小型向け投資に加え、台湾でのTV用投資などにより第3四半期からさらに増加を目指す



■2014年12月末 貸借対照表

>>資産合計：2,526億円（前期末比202億円増加）

現金及び預金は減少したが、たな卸資産や保有株式の時価上昇に伴い  
投資有価証券が増加

>>負債合計：1,492億円（前期末比40億円増加）

社債は減少したが、長期借入金や繰延税金負債が増加

>>純資産合計：1,033 億円（前期末比162億円増加）

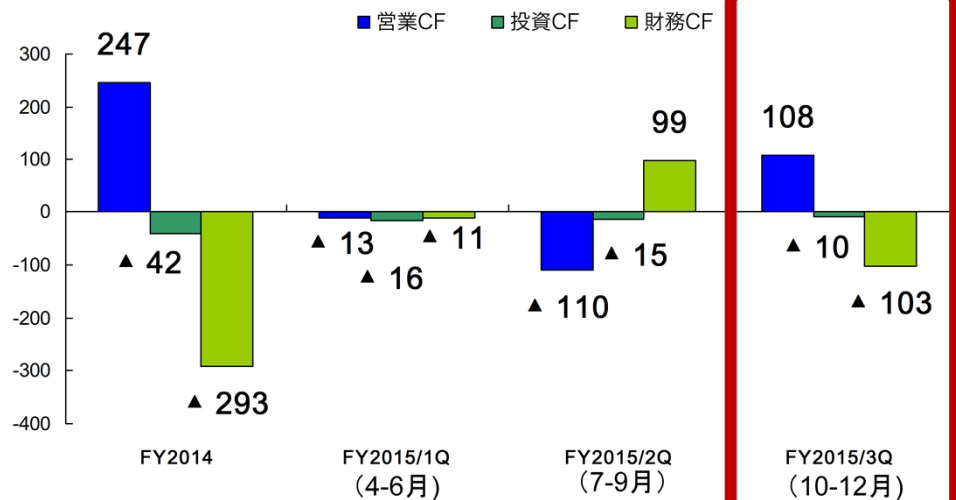
配当金の支払いの一方で、四半期純利益の計上や保有株式の時価上昇および円安の  
影響により、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定がそれぞれ増加

>>当期末の自己資本比率：40.7%（前期末比3.5ポイント上昇）

## キャッシュ・フロー&lt;連結&gt;

&gt;&gt;3Q累計・フリーキャッシュ・フロー： ▲58億円

(単位：億円)



12

SCREEN Holdings Co., Ltd.

## ■キャッシュ・フロー

&gt;&gt;営業活動によるキャッシュ・フロー：

第2四半期において支払時期と入金時期のタイミング差で一時的に悪化したか、第3四半期では、税金等調整前四半期純利益に加え、

第2四半期末に比べて、売上債権の減少、支払債務の増加などの収入項目が、たな卸し資産の増加などの支出項目を上回ったことから、108億円の収入

## ■投資活動によるキャッシュ・フロー：

第3四半期では、研究開発設備などの有形固定資産を取得したことなどにより、10億円の支出

## ■財務活動によるキャッシュ・フロー：

第3四半期では、短期借入金の返済を進めた結果、103億円の支出

これらにより、第3四半期累計（9カ月）のキャッシュ・フローは、

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億円の支出

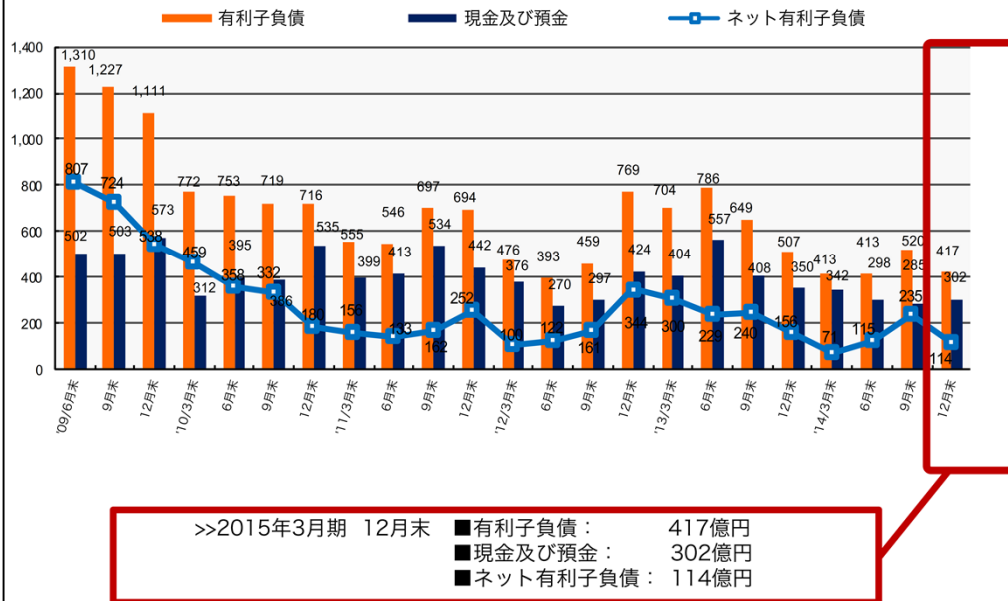
投資活動によるキャッシュ・フローは、42億円の支出

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億円の支出

以上の結果、当3Q末における現金及び現金同等物残高：270億円

### 有利子負債推移<連結>

(単位：億円)



#### ■有利子負債

- ・第2四半期に、営業キャッシュ・フローの悪化により、一時的に増加。  
第3四半期において、営業キャッシュ・フローの改善により、純有利子負債は減少

この結果、第3四半期末の有利子負債は417億円となった

- ・有利子負債から現金及び預金を除いた純有利子負債も、第2四半期末と比べて、125億円減少し、114億円となった

## 2015年3月期業績予想

(単位：億円)	2014/3期	2015/3期				
	通期	上期	下期(予想)		通期(予想)	
	実績	実績	11月発表	2月発表	11月発表	2月発表
売上高	2,359	1,124	1,295	1,255	2,420	2,380
S E	1,631	757	862	827	1,620	1,585
G P*	521	272	282	282	555	555
F T*	198	90	144	139	235	230
O T	8	3	6	6	10	10
営業利益	89	67	79	82	147	150
営業利益率	3.8%	6.0%	6.1%	6.6%	6.1%	6.3%
経常利益	83	65	76	76	142	142
当期純利益	54	46	65	65	112	112

●想定為替レート>> 1米ドル=110円、1ユーロ=135円

●年間配当金予想>> 期末配当1株当たり5円(前回発表予想から変更なし)

\*注>> GP:旧「メディアアンドプレジジョンテクノロジー事業」→グラフィックアンドプレジジョンソリューション事業(GP)  
FT:旧「FPD機器事業」→ファインテックソリューション事業(FT)

## ■当期業績予想

>>売上高：11月予想を下回る予定

- ・営業利益は、予定通り変動費削減が進捗する中、固定費抑制により、11月予想147億円から増加が見込まれ、150億円に修正。  
したがって、営業利益率は前回予想の6.1%から6.3%になる予想。

1. 当第3四半期累計業績(9カ月)は、前年同期比  
収益性改善
2. 収益構造改革が進捗  
S E 営業利益率が改善
3. 財務体質も改善  
自己資本比率が改善
4. 2015年3月期業績予想は、前回(11月)予想並み

→ 中期経営計画達成に向け進行中



SCREEN

Fit your needs, Fit your future

